

NPOから提案を募集したいテーマ

テーマ	新たなごみ減量化（3R）システムの構築について
課題と内容	<p>三重県では、持続可能な資源循環型社会の構築に向けて、住民、事業者、行政など多様な主体が、長期的な展望のもとに参画・協働していくための行動指針として、平成17年3月に「ごみゼロ社会実現プラン」を策定しました。</p> <p>このプランでは、「産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進」や「ごみ行政への県民参画と協働の推進」など9つの基本方向のもとに具体的なごみ減量化の取組を提案するとともに、各主体の役割分担を示しています。</p> <p>そのなかで、自治会、NPO等民間団体の役割も非常に重要となっていますが、県内ではまだまだ少ないのが現状です。</p> <p>このことから、地域住民、事業者及び行政との協働のもとNPO等が担い手となる新たなごみ減量（一般廃棄物の3R）システムを構築し、その活動が地域に根付き、「ごみゼロ社会」の実現に向けた取組の提案を期待します。</p> <p>参考：ごみゼロ社会実現プラン  <a href="http://www.eco.pref.mie.jp/gyousei/keikaku/gomizero/">http://www.eco.pref.mie.jp/gyousei/keikaku/gomizero/</a></p>
NPOに期待する役割	<p>●NPO等が担い手となる新たなごみ減量（処理）システムの提案  <b>【例】</b>・オフィス紙ごみの収集  <a href="http://www.nihon-houchiki.co.jp/office/">http://www.nihon-houchiki.co.jp/office/</a>          ・資源ごみの拠点回収  <a href="http://www.es-net.jp/activities/system2.html">http://www.es-net.jp/activities/system2.html</a></p> <p>●地域に根付いた地域住民、事業者及び行政との協働</p> <p>●環境学習、環境教育ツール・プログラムの開発等</p>
県の事業の位置づけ	<p>●県民しあわせプラン政策・事業体系          411 資源循環の推進          41101 発生抑制と再利用・再生利用の推進</p> <p>●重点プログラム 暮らし12          ごみゼロ社会実現プログラム</p>
テーマの該当する番号に○をふってください。	<p>①今年度実施する事業で、NPOからの企画提案を募集しようと考えているもの</p> <p>②今年度は事業化できなくても、NPOと対話により課題を共有し、次年度以降に事業化を検討するもの</p>
担当室	ごみゼロ推進室
担当者	谷出 慎一、佐藤 邦彦
連絡先	059-224-3126

※この様式は、公開することを前提として記載してください。